

# NPO活動サポート事業【ネーミング事業】

助成件数 助成金額合計  
**4件** **2,339,000円**

寄附者の愛称が付けられた、分野希望寄附を原資に実施した助成事業です。

ネーミング名	一般財団法人さいたま住宅検査センター <sup>スマイル</sup> 住まいるまちづくり支援事業
事業名	市町村担当者にも参加してほしい空き家対策セミナー実施事業
法人名	特定非営利活動法人 空き家対策協会【さいたま市】



活動内容	空き家対策協会は、社会問題化している空き家に関する情報提供を実施している異業種専門家集団です。 市町村と協力し市民向けセミナーを開催することで情報発信をしたり、個別相談の実施により専門的知見からアドバイスを実施しています。
事業取組	1 市民向けセミナーの実施と個別相談会の開催 さいたま市西区と桜区でセミナー及び個別相談会を実施しました。 2 冊子改訂版の作成 当協会の冊子の改訂版を作成・印刷しました。 3 自治体担当者も出席したくなるフォーラムの開催 残念ながら新型コロナの影響で中止となりました。
事業成果	市民向けセミナーでは64名が集まり、個別相談は20組の予約がありました。自治体担当者も出席したくなるフォーラムでは市町村担当者18名の事前申込と、テレビ埼玉の取材申込もありましたが中止になりました。ですが、中止と知らずに71名の方が来場されました。 冊子改訂版は無事完成しました。今後のセミナーで配布します。

総事業費 **468,543円** 助成額 **450,000円**

ネーミング名	金紋世界鷹みどりと川の再生環境保全事業
事業名	荒川の自然・歴史・文化を活用した上尾市平方地域を中心とした地域づくり
法人名	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会【上尾市】



活動内容	荒川の自然を守る会は「荒川の自然は21世紀を生きる子ども達の大切な財産」を合言葉に1991年に設立しました。 上尾市、川越市、川島町が接する荒川旧流路の通称「三ツ又沼」の自然保全に取り組んでいます。その活動が国土交通省を動かし、「三ツ又沼ビオトープ」が作られました。 現在も行政、学識者、市民団体と協力し、自然保全活動を行っています。
事業取組	平方地域の歴史・文化の掘り起こしの一環で聞き取り調査を実施し、平方地域の自然・歴史・文化をめぐりイベントを2回開催しました。 また、アマナ群落保護のための調査と天然記念物指定へ向けた行政への働きかけを行いました。 堤防工事と県により行われた遺跡発掘で外来種が繁殖してしまった上尾市西貝塚地区にて、外来種を抜き取り、地域の在来野草の種まきや苗の移植を行い、自然の再生を行いました。 A3版裏表8ページ4つ折りの地域案内を6000部作成しました。
事業成果	このような活動は地味であり、いきなり大きな成果を得ることはできないので、地道に継続することを大切にしたいと思っています。出来上がったリーフレットを活用して市民に地元の良さを広めたいと考えています。西野のアマナについても自然の豊かさの象徴として、上尾市の誇りとして市民や行政に認知してもらるように活動を続けていきます。また周囲の川越市や川島町との境界という立地の良さを生かしてネットワークを作りたいと思っています。

総事業費 **545,651円** 助成額 **500,000円**

ネーミング名	キリンビール株式会社埼玉支社地産地消・食育応援事業
事業名	みんなの見沼たんぼ活用事業
法人名	特定非営利活動法人 のらんど【さいたま市】



活動内容	のらんどは、見沼たんぼや周辺での農業を通し、障害のある人を含め、様々な違いを持った人たちが活躍する場をつくることを目的に活動している団体です。 農作物の生産販売や農体験イベントの開催などを通し、農家や他団体との連携、住民の交流にも取り組んでいます。
事業取組	遊休農地が増える見沼たんぼで、障害福祉や貧困支援等の団体が協力して、見沼たんぼ保全や、米や野菜の栽培を行いました。 月1度、家族連れや仕事仲間、地域団体利用者、塾仲間など、国籍も属性も様々な人が集まって、ともに作業しました。 日常での田畑の管理では、貧困支援や障害福祉団体の利用者が活躍しました。 様々な参加者が見沼たんぼで農的活動を楽しんだり、ともに働いたりすることで、見沼たんぼの環境やそこで自ら作った作物のありがたみを感じることができました。
事業成果	月に1度の作業日には、のべ197人が参加し、田んぼ500㎡と畑50㎡を耕作しました。 日常の田畑の管理では貧困支援団体等からのべ12人が参加し、収穫祭では110人以上参加しました。 今後も様々な人が活躍できるよう、土地を増やし、収入の確保に努め、他団体との連携を強化していきます。

総事業費 **1,157,723円** 助成額 **900,000円**

ネーミング名	株式会社富士薬品ドラッグセイムス環境保全支援事業
事業名	多角的環境教育事業
法人名	特定非営利活動法人 エコ.エコ【さいたま市】



活動内容	エコ.エコはさいたま市緑区南部領辻三角下にて動植物の保護活動を月2回以上行っている団体です。 多くの人に自然の不思議さや、驚きを伝えるために「自然観察会」の開催や、里山や畑の恵みを子どもたちと一緒に体験する「里山.com」を定期的実施しています。 自然理解の輪を広げるために、ほかにも多くの支援事業も実施しています。
事業取組	「災害が起きて初めて、自然の偉大さに気づくのではないか」という視点で防災キャンプを行いました。災害時に電源や水、食べ物や備蓄するための準備について、野外体験を実施しました。 環境講演会では、海外の取り組み事例やドイツでの行政との関わり方などについて学びました。バイオミクリカードを使い、子どもたちとゲームをしながら、私たちの生活は「自然からのアイデアがたくさんあること」を学びました。 防災や保全活動を伝えるために動画を作成しました。YouTubeにアップし、いつでも見られる環境を整え、広報にも活用します。
事業成果	里山.comで防災についてのイベントを行う予定です。講演会は若い世代に手伝ってもらい、多世代の活動につなげます。 また動画はホームページにアップし、またチラシなどにもQRコードをつけ、発信していきます。

総事業費 **533,291円** 助成額 **489,000円**